

# 読書活動推進の取組紹介

常滑市立南陵中学校

## はじめに

本校は愛知県の知多半島にある全校生徒 227 名の小規模校です。ICT の普及により、生徒の活字離れが進む中、少しでも活字に触れてほしいという想いのもと、全校で読書活動の推進に取り組んでいます。以下、常時活動と特別活動の視点で、2つの取組を紹介します。

### 1、朝の読書タイムの設定

本校では、毎朝 8 時 25 分～8 時 40 分の 15 分間を朝読書の時間（南陵タイム）として設定しています。生徒はそれぞれ読みたい本を事前に用意し、集中して読書をしています。静かで穏やかな時間が流れる南陵タイムは、慌ただしく学校に登校してきた生徒にとって、落ち着くことのできるよい時間になっています。1 時間目の授業に落ち着いて臨む姿勢をつくることにもつながっています。また、教員も本を用意し生徒とともに活字に親しむよい機会になっています。さらに、南陵タイムで読みたい本を図書館で探す姿も多く見られます。学校図書館を利用する機会の増加にもつながっていると実感しています。



### 2、漫画ビブリオトークの開催

本校では、年に 1 回 PTA 交流会として、土曜日に授業が行われています。PTA 交流会では、地域の方を講師としてお迎えし、様々な講座を開いています。体育的なものから文化的なものまで幅広い分野の講座を設定しています。その中で図書館で行われるのが「漫画ビブリオトーク」という講座です。生徒は、好きな漫画を持ち寄って、魅力を思う存分に語り合います。他者が紹介した漫画を楽しく読む様子が見られました。生徒からは「自分の好きな漫画を知ってもらえてよかった」や「他の人が紹介した漫画のキャラクターに興味をもち、新しい漫画を読んでみるきっかけになった」といった声が上がりました。漫画ビブリオトークを通して、読書の魅力を再確認する有意義な時間となりました。



## おわりに

学校図書館の利用が特定の生徒に限られていることや、授業内での図書の活用が難しいことなど、まだまだ課題があります。日々生徒の様子をじっくり見ながら、今後も生徒のさらなる読書活動の推進に学校全体で取り組んでいきたいと思えます。